

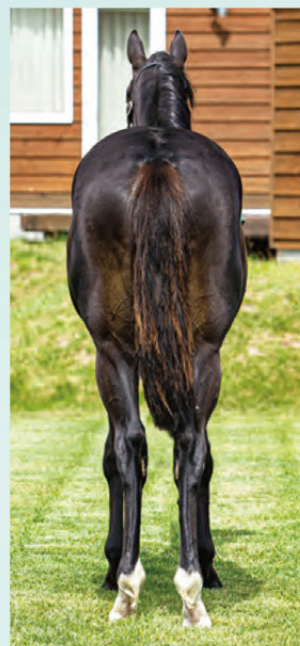
11 タイキグラミーの21年産 牝

父：メイショウボーラー 母の父：フレンチデピュティ(USA)

2021年3月10日生(黒鹿毛) 美浦・伊藤圭三厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,300万円／一口出資金32,500円／月々の維持費 1,750円／一口



メイショウボーラー 黒鹿毛 2001年	タイキシャトル(USA) 栗毛 1994年	Devil's Bag(USA)
		ウェルシュマフィン(GB)
タイキグラミー 鹿毛 2010年	ナイスレイズ(USA) 黒鹿毛 1994年	Storm Cat(USA)
		Nice Tradition(ARG)
	フレンチデピュティ(USA) 栗毛 1992年	Deputy Minister(CAN)
		Mitterand(USA)
	リンクスオブタイム 黒鹿毛 1996年	ジェイドロバリー(USA)
		リンクスオブゴールド(USA)

Nijinsky S5×M5 Northern Dancer S5×M5 Secretariat S5×M5

Family Line

母 タイキグラミー

1勝、本馬は第5仔

アドゥシール：[南関東]3勝、[東海・佐賀]9勝、現役
タイキザモメント：入着、[北海道・東海]4勝、現役
ブルースコード：2勝、現役
スウィートナー：入着、現役

祖母 リンクスオブタイム

5勝

タイキブルース：2勝
[孫]タイキダイヤモンド：3勝
シーオブドリームス：1勝

曾祖母 リンクスオブゴールド(USA)

米4勝

ヤエノジョオー：7勝 シーサイドS(JPN3)
[孫]タイキエイワン：3勝
タイキパーシヴァル：5勝

4代母 State Treasure(USA)

米1勝

[孫]Danger Crocodile(USA)：米18勝
Timeless Twister(USA)：米4勝

Broodmare Sire

母の父 フレンチデピュティ(USA)

1992年生 栗毛 米国産

【競走成績】

米6戦4勝 ジェロームH(G2)

【母の父として】

マカヒキ：日本ダービー(G1)

ゴールドドリーム：フェブラリーS(G1)

ショウナンパンドラ：ジャパンC(G1)

レインボーライン：天皇賞・春(G1)

マルシュロレーヌ：BCディスタフ(G1)

TRAINER 伊藤圭三 調教師(美浦)

1963年3月28日生 北海道出身

1998年開業 JRA通算488勝

※成績は2022年6月28日現在

【主な管理馬】

スマートボーイ：平安S(G3)

フリエミネンス：エルムS(G3)

ホワイトカーニバル：フェアリーS(G3)

Sire

父 メイショウボーラー

2001年生 黒鹿毛 浦河産

【競走成績】

国内：28戦7勝 海外：1戦0勝

フェブラリーS(G1)、デイリー杯2歳S(G2)、
根岸S(G3)、ガーネットS(G3)、小倉2歳S(G3)
スプリンターズS(G1)2着

【直近3年の種付頭数】

2019年73頭、2020年50頭、2021年33頭

【代表産駒】

ニシケンモノノフ：JBCスプリント(JPN1)

エキマエ：兵庫チャンピオンシップ(JPN2)

ラインミーティア：アイビスサマーD(G3)



©株式会社ジャパンレースホースエージェンシー

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

ひと目で“これは!”と思わせる、美しい馬体のタイキグラミーの21年産。年々産駒のクオリティを上げてきているタイキグラミーにメイショウボーラーを配した根拠は、ずばり“スピードとダート適性”の特化です。これまで、クラシックでの活躍を見込んで芝の中距離を意識した配合を試してきました。しかし、母の産駒は明らかにダートの短距離に適性を示す傾向が強く、兄ブルースコード(ミッキーアイル)は、幼少期に負った競走馬生命を危ぶまれる内臓系の怪我で、募集ラインナップに加えることができませんでした。怪我を乗り越えてダートの短距離戦線で3勝クラスに手が届きそうなどころまで来ています。それならばいっそ、と長所を活かす配合に切り替えた本馬は、いかにもスピードがありそうな流線型のフォルムでありながら、胸の深さは1歳離れしており、トモの大きさも目を引きます。ここまでは目論見通りの成長を見せてくれていますね。性格は優等生だった姉スウィートナーを少し“やんちゃ”にした感じで、大人しいタイプではないですが、指示の理解はとても早いです。動きの面では、パワーがありつつもシャキシャキと軽い動きを見せており、前向きな性格を鑑みても、早い時期から楽しめる1頭ではないかと思っています。